

■ 文理融合の情報教育カリキュラムを基盤とした教育プログラム ■ データサイエンス教育プログラム(基礎/応用)を開設 ～2021年4月より、総合情報学部に導入～

関西大学総合情報学部では、文理融合の情報教育カリキュラムを基盤として、データサイエンス技法を様々な分野に応用する基礎力を高めるための「データサイエンス教育プログラム(基礎/応用)」を、2021年4月より導入します。

本件の ポイント

- ・データサイエンスの技法を様々な分野に応用する力を育成
- ・総合情報学部が有する、文理融合の情報教育カリキュラムを基盤としたプログラム
- ・学部生全員がデータリテラシーを学び、基礎/応用編の2種のプログラムで修了認定

新たに導入するデータサイエンス教育プログラムでは、文理融合の情報教育カリキュラムを基盤として、データの収集・表現、定量的・統計的分析、プログラミングに関連する講義・実習科目を集約し、データサイエンス技法を段階的に修得できるように基礎/応用編の2種類を提供します。

■「情報を収集、分析、表現するための知識とスキルの修得」を教育目標に掲げる総合情報学部

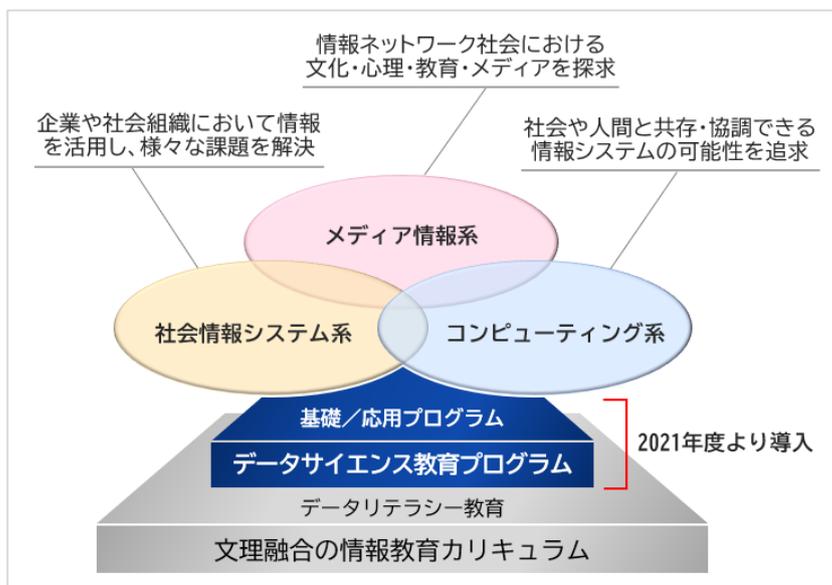
同学部では1994年の開設当初より文系・理系の枠にとらわれず、社会と人間に対する広い視野と情報活用能力を養う教育を行ってきました。2009年度より社会調査士カリキュラムを開設し、量的・質的データの調査・分析に関する科目を充実させました。

本教育プログラムの導入により、学部生全員がデータリテラシー（社会でのデータ利活用動向、データの扱い、利活用における心得）を学び、さらに基礎/応用プログラムにおいて所定の単位を修得すれば、プログラム修了の認定を受けることができます。3つの系（メディア情報系、社会情報システム系、コンピューティング系）を履修指針とする同学部のカリキュラムにおいて、データサイエンス技法を応用する基礎力を学ぶことにより、複合的に専門性を高めていくことが可能となります。

基礎プログラムは、1～2年次配当科目で構成され、データ収集・表現・解析の基礎となる手法、社会と人間に関わる情報・データの利活用における課題や法的・倫理的事項について学びます。

応用プログラムは、2～3年次配当科目を中心に構成され、デジタル化された情報やデータを高度に活用するための理論的知識、AI等の技術を駆使した

情報システムの構築、各領域への応用等、講義科目とともに多彩な実習科目が提供されます。応用プログラムを履修することによって、複合的に専門性を高めながら社会における問題発見、問題解決の糸口を掴み、卒業研究テーマに発展させていくことが期待されます。(プログラムの詳細は次ページご参照)



この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、木田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ データサイエンス教育プログラムにおける科目構成

データサイエンス**基礎**プログラム対象科目（予定）

	データの収集・表現	データの解析	実習科目
2年次	● 社会調査入門 科学倫理・科学哲学		データ分析実習
1年次	認知科学 法学 (2科目選択) ● 情報社会論 ● 情報と倫理	数理意思決定論 基礎数学（解析） 基礎数学（確率・統計） (1科目選択) ● 統計学 ● データサイエンスの基礎 ● プログラミング入門 ● コンピュータの言語	プログラミング基礎実習 (1科目選択) ● データリテラシー実習
修了要件	講義10科目（うち必修7科目）		実習2科目（うち必修1科目）

点線枠内は選択科目 ● … 基礎プログラムにおける必修科目 「データサイエンスの基礎」は2021年度新設予定

データサイエンス**応用**プログラム対象科目（予定）

	データの収集・表現	データの解析	実習科目
3年次	メディア法制と倫理 コンピュータ犯罪	人工知能 自然言語処理 画像情報処理	マイクロ政治データ分析実習 マクロ政治データ分析実習 経済情報処理実習 機械学習実習 ロボットブレイン コンピューティング実習 モバイルコンピューティング実習
2年次	知的財産法（著作権） 社会調査方法論 社会シミュレーション (2科目選択)	数値・数量解析 モバイルコンピューティング アルゴリズム解析・設計 (3科目選択) ◆ 調査データ分析	テキストマイニング実習 (2科目選択)
1年次	◆ 法学	◆ 基礎数学（確率・統計） ◆ 基礎数学（解析）	
修了要件	講義9科目（うち必修4科目）		実習2科目

点線枠内は選択科目 ◆ … 応用プログラムにおける必修科目

■ 関西大学における開設済のデータサイエンス教育プログラムの紹介

学部・研究科	プログラム名称〔開設時期〕	育成する人材のイメージ
システム理工学部	データサイエンティスト育成プログラム〔2020年4月〕	モノづくりに精通した本格的なAI・IoT系の技術者
商学研究科	データサイエンティスト育成(DS)プログラム〔2015年4月〕	高度な情報通信技術を用い、膨大なデータを活用して新しい価値を創り出すことができる人材 (ビッグデータを科学的に解析できる人材)

■ 関西大学総合情報学部紹介（参考情報）

1994年4月に関西大学としては7番目の学部として、京都と大阪の中間に位置する丘陵地にある高槻キャンパス内に創設されました。総合情報学部は、開設当初より文系・理系の枠にとらわれず、文化、社会、ビジネス、ネットワーク、ソフトウェアなど様々な領域における課題を「情報」の視点から探求し、社会と人間に対する広い視野と情報フルエンシー（利活用能力）を養う教育を行ってきました。

多彩な科目群から構成される自由度の高いカリキュラムでは、「メディア情報系」「社会情報システム系」「コンピューティング系」からなる3つの方向性を履修指針として、各自の将来ビジョンに合わせて専門性を高めていきます。さらに、確かな情報フルエンシーが修得できるように、多分野に及ぶ実習科目を1年次から段階的に履修していきます。キャンパス内にはプロ仕様のスタジオ設備や編集室のほか、3Dプリンター、レーザーカッター、各種木工具を備えたモノづくり教室が整備され、コンピュータだけでなく映像編集機材やデジタル工作機器を活用して実践的知識とスキルを身につけることができます。

総合情報学部は昨年（2019年）4月に開設25周年を迎えました。ひとつのジャンルにとらわれずに多角的に学んだ12,000余名の卒業生は、IT関連企業をはじめマスコミ・教育関連、スタートアップ企業、製造業、公務員など様々なフィールドで活躍しています。



総合情報学部の学舎全景（高槻キャンパス内）

▼総合情報学部ウェブサイト

http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_inf/



▼総合情報学部デジタルパンフレット

https://www.nyusi.kansai-u.ac.jp/request/pdf/fc_inf.pdf

